

令和4年度 大桑小学校

第2回学校運営協議会（学校応援団本部会議）

令和4年9月28日

会場：校長室

進行・記録：教頭

- 1 挨拶 9：30～
 - ・学校運営協議会 会長
 - ・大桑小学校 校長

- 2 学校評価について 9：40～
 - ・児童・保護者評価 (教頭)
 - ・職員自己評価 (教頭)
 - ・中間評価について (校長)

- 3 創立150周年記念事業について 10：00～
 - ・かしの木フェスティバル (校長)

- 4 その他・ご意見等 10：20～

- 5 傍聴人

次回会議予定 第3回 2月 日 ()

令和4年度前期学校評価結果

調査日 令和4年7月4日～7月20日

数値は「そう思う」「少しそう思う」、「良好」「やや良好」、「とてもよい」「よい」という肯定的な回答の割合

R3後期と3%以上
上の差があったもの

R3前期と3%以上
上の差があったもの

児童アンケート

主に学校での生活にかかわること

	R4前期	R3後期	R3前期		
1 自分にはよいところがある。	86.4%	92.7%	92.7%	↓	↓
2 先生は、自分のよいところをほめている。	95.5%	100.0%	97.6%	↓	
3 学校の友だちや先生に、大きな声であいさつをしている。	95.5%	97.6%	92.7%		
4 自分は、将来の夢や目標をもっている。	88.6%	92.7%	87.8%	↓	
5 学校は楽しい。	97.7%	100.0%	100.0%		
6 学校の授業は、楽しい。	95.5%	100.0%	100.0%	↓	↓
7 先生の授業は、分かりやすい。	97.7%	100.0%	97.6%		
8 学校の一員として、進んで役に立つことをしている。	88.6%	95.1%	92.7%	↓	↓
9 よいことをしている友だちに「ありがとう」とよく声をかけている。	97.7%	97.6%	100.0%		
10 友だちと協力し、ボランティアや委員会活動などで、よりよいくらしを作っている。	97.7%	97.6%	90.2%		↑
11 学校（生活）のきまりを守っている。	100.0%	100.0%	97.6%		
12 授業の中で、自分の考えをがんばって発表している。	86.4%	95.1%	92.7%	↓	↓
13 友だちの意見を、うなずいたり反応したりして聞いている。	97.7%	97.6%	97.6%		
14 教室の机の引き出し・ロッカーなど、自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	88.6%	92.7%	92.7%	↓	↓
15 休み時間には、進んで外で遊んでいる。	93.2%	100.0%	100.0%	↓	↓
16 いじめがあった（見た）とき、相談できる人はいる。	97.7%	97.6%	90.2%		↑

主に家庭や地域での生活にかかわること

17 家庭学習を、目安の時間（例：6年生は60分）している。	100.0%	97.6%	95.1%		↑
18 家や学園で、自分から進んで宿題に取り組んでいる。	97.7%	100.0%	100.0%		
19 家族（学園の先生）に、学校であった話をしている。	88.6%	87.8%	92.7%		↓
20 家族（学園の先生）は、自分のよいところをほめている。	95.5%	92.7%	92.7%		
21 学校から帰ってからの生活では、「早寝、早起き、朝ごはん」を行っている。	97.7%	95.1%	97.6%		
22 家（学園）で、自分の部屋や自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	93.2%	95.1%	90.2%		
23 地域の人に、相手に聞こえる声であいさつしている。	93.2%	97.6%	97.6%	↓	↓
24 大桑で行われている行事、ボランティアなどに、よく参加している。	90.9%	90.2%	92.7%		
25 ドライバーとアイコンタクト（会釈）をしている。	81.8%	90.2%		↓	↑

保護者アンケート

主に学校の取組にかかわること

	R4前期	R3後期	R3前期		
26 子どもは、喜んで学校に通っている。	92.1%	100.0%	97.5%	↓	↓
27 子どもは、授業が楽しいと言っている。	92.1%	100.0%	95.0%	↓	
28 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	89.5%	100.0%	95.0%	↓	↓
29 学校は、規律ある生活やいじめを許さない風土をつくりあげている。	100.0%	100.0%	100.0%		
30 学校は、子どもを理解し、よさを伸ばすように努めている。	97.4%	100.0%	100.0%		
31 学校の活動の様子が、便りなどを通して伝わっている。	100.0%	100.0%	100.0%		
32 来校時や電話、相談などの学校職員の対応は適切である。	100.0%	100.0%	100.0%		

主に家庭や地域での生活にかかわること

33 「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活に努めている。	86.8%	84.4%	85.0%		
34 家庭では、ゲームやネットより、スポーツや外遊びを優先している。	76.3%	78.1%	72.5%		↑
35 自分の部屋や道具の整理整頓ができている。	52.6%	53.1%	52.5%		
36 役割を決めてお手伝いしている。	76.3%	96.9%	87.5%	↓	↓
37 家庭学習をする習慣が身に付いている。	89.5%	93.8%	90.0%	↓	
38 家庭（学園）内で、子どものよさをほめている。	94.7%	100.0%	100.0%	↓	↓
39 子どもは、いつでもどこでも誰に対しても挨拶ができる。	71.1%	87.5%	82.5%	↓	↓
40 子どもは、学校のできごとや友だちの話をよくする。	84.2%	90.6%	95.0%	↓	↓

本年度の学校やPTAの特徴的な取組みについて

41 学校が教え方を工夫するなど、分かりやすく教えることについて	97.4%	96.9%	100.0%		
42 かの木フェスタや学習発表会、福祉施設との交流など、地域と連携した活動について	100.0%	100.0%	100.0%		
43 安全への配慮や、自分の命を自分で守る力をつける取組について	100.0%	100.0%	100.0%		
44 体育館で行うスポーツ用品を利用した体力づくりについて	100.0%	96.9%	100.0%	↑	
45 たくましい子に育てる「よさの通帳・ハイタッチ挨拶・ほめほめカレンダー」の取組	97.4%	100.0%	97.5%		
46 新型コロナウイルス感染症対策について	100.0%	100.0%			↑

保護者学校評価記述内容とその回答

番号は前頁のアンケート項目番号に対応しています。

41 授業改善・学び方指導について

- ・ 小心者なので分からないことがあっても、自分から先生に質問できないようです
- ➡先生から声をかけるようにします。

44 体育の時間以外での体育的な活動について

- ・ できれば雲梯の導入を検討していただきたい。
- ➡新しい遊具の設置は、費用がかかることから難しい。修繕や撤去に費用はかけられています。

45 たくましい子に育てることについて

- ・ ほめほめウィークの時に、学校で「昨日どんなこと褒められたかな」ときかれて子供がこたえるような機会があるといいのでは。褒めるほうも考えて褒めるし、子供も自分の良いことを人に言えるのは嬉しいのでは。
- ➡PTA執行部とも相談し、改善します。

大桑小学校中間 学校評価表(まとめ)

前期の反省を後期の指導に生かす

5できた 4おおむねできた 2ややできてない 1できてない ◎…0.5以上増 ×…0.5以上減

重点	今年度の観点	評価の窓	R4前期	R3後期	R3後期との比較	R3前期	R3前期との比較
学びを深める力の育成 「伸びた」が実感できる授業づくりと自分たちで	目指す姿の定着(学力)	めざす学力を児童に身に付ける。	3.5	4	×	3.4	
	目指す姿(授業)の明確化と見届け	本時で目指す姿を具体的にもって授業を始める。見届けの場を明確にし、状況に応じた指導・援助を行う	4.0	4		4	
	教材教具の工夫と活用	学習意欲を高め、効果を上げるために教材教具を工夫する。	3.9	4.4	×	3.7	
	目指す姿の定着(表現力)	児童は、自分の意見を積極的に発言している。	3.5	3.5		3.5	
	子どもの追究意欲を高め思考を大切にす	子どもに言わせたい言葉を具体化し、そのためにどのような展開、発問をするかを吟味する。	3.1	3.4		3	
	学習のねらいに迫るための学習活動の工夫	自分の考えを書いたり、相手に伝えたりする場を位置付ける。	3.9	3.9		3.4	
	目指す姿の定着(学習規範)	児童に学習規範が身に付いている。 (話し方・聞き方、ノートの使い方)	3.4	3.7		3.5	
	学習規律・学習姿勢・学習習慣の定着	学習姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.0	4.2		4.2	
		児童の発表(話)は最後まで聞く。 (児童の発表中に口をはさまない)	4.3	4		4	
		活動に節目をもって授業を進める。(活動を区切るときは、全員が止めたことを見届けてから、次の指示を出す。)	3.8	4.5	×	4.2	
授業は、時間を守って終わる。		4.3	3.9		3.2	◎	
目指す姿の定着(学習習慣)	学年や実態に応じた家庭学習が定着している。	3.9	4.2		4		
家庭や地域との連携 学習内容を確実に定着させるための指導	授業とつながりをもたせ、家庭学習の習慣が身に付くよう指導する。	4.3	4.4		4		
成長 温かい人間関係の中で支え合いながら、たくましく生きる力を育	目指す姿の定着(自己有用感)	児童の自己有用感が高まっている。	3.3	4.2	×	3.8	×
	日常生活における豊かな心を育む活動 (体験活動 等)	教育活動全体を通して道徳的実践ができる指導・啓発に努める。	4.0	3.9		3.8	
	心に響く道徳の授業	話し合いや交流を通して、道徳的価値について考える	3.3	3.2		2.8	
	自己啓発力・自己指導能力の育成	一歩立ち止まって、子供自身に「考えさせる」「見つめさせる」 ゆとりをもった指導・啓発にあたる。	3.5	3.8		3.6	
	意図的計画的な指導(見通し)	学級(学校)目標を意識して活動と指導を関連づけた実践を行う。	3.9	3.9		2.9	◎
	心の居場所となる教育環境	存在感や所属感・有用感を味わうことができる学級(学校)集団づくりに努める。	4.1	4.2		3.9	
	自己有用感と自己肯定感の醸成 「ありがとう」と「すごいね」の使い分け	良い行いには、子供にも感謝の気持ちをもって接し、「ありがとう」の言葉が広がるよう努める。	4.3	4.6		4.5	
		行為と心情をつなげて価値に気付かせるなど、ほめる指導の内容を高め、自己肯定感を育てていく指導に努める。	4.0	4		4	
	いじめ防止への啓発	いじめを絶対許さないという構えで、「いじめ見逃し0」に努める。	4.8	4.6		4.6	
	目指す姿の定着(生活規範・生活習慣)	児童に生活規範が身に付いている。 (きまり・ルールを守る)	3.8	2.9	◎	3.3	
		児童に生活習慣が身に付いている。 (身の回りの整理・整頓 等)	3.3	3.2		3.2	
		誰にでも相手に伝わる声であいさつをしている。	3.4	3.9	×	3.5	
	生活規範・生活習慣の定着	生活姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	3.8	4.2		3.9	
	家庭や地域との連携	心の教育を広める学級だよりの発行や懇談の場の設定などに努める。	3.9	3.5		3.2	◎
健康や安全についての、自ら考え行動	目指す姿の定着(自分の命を守る力)	自分の命は自分で守る力が高まっている。	4.1	4.2		4	
	危機回避能力(危険を「見立てる」力)の育成	事故防止に努め、命を第一にする指導に心がける。	4.3	4.4		4.5	
	目指す姿の定着(体力づくり)	児童は、進んで外で遊んでいる。	3.9	4.2		3.9	
	めあてをもたせた体力づくり	運動に親しむ態度を育てる。	3.4	4.2	×	4	×
	健康的な生活力の育成	自分の心身の状態に関心もち、健康で安全な生活を送ることができる指導を行う。(「けんこうカード」の活用など)	4.1	4.4		3.3	◎
	定期・日常的な教育相談体制の充実	日常的な教育相談ができる場が一人一人に位置づくよう心がける。	4.3	4.5		4.5	
	職員の危機回避体制	「大丈夫かな?」「ちょっと変だな?」と思ったら、すぐ報告・対応に努める。	4.4	4.6		4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、健康安全教育を推進する。	3.9	4.2		4	
自然と地域連携を基に	目指す姿の定着(郷土愛)	進んで地域の行事や活動に参加している。	3.9	4		3.5	
	自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	点ではなく線につながる地域貢献的な学習活動等を仕組み、ふるさと学習の充実を図る。	3.3	4.2	×	3.5	
	地域人材(地域団体)の活用	積極的に地域人材(地域団体)を活用し、学習活動の充実に努める。	4.0	4.2		3.2	◎
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	3.3	4.2	×	3.5	

5できた 4おおむねできた 2ややできてない 1できてない

1 児童の姿

- ・コロナ感染、濃厚接触者による出席停止あり、学級閉鎖はなし。
- ・給食をよく食べ、残量がほとんどない。(低学年で魚料理は苦手)
- ・コロナ関係を除くと毎日、欠席がほとんどない。
- ・保健室の利用が少ない。
- コロナ禍で体力の低下が見られる。熱中症予防で外遊びを控えたこと。

2 教職員の姿

- ・元気に毎日出勤、明るく笑顔で児童と接する。包容力がある。
- ・教職員の交通事故ゼロ、不祥事ゼロ、規範意識は高い。
- ・管理職として、休みやすい環境作り、年休と特休の取得の推進
- ・時間外勤務時間45時間以内 5, 6, 7月は全員達成。9月は…
- 自立につながる支援への理解、良かれと思っで行う支援のあり方

3 コロナ対応の現状と課題

- ・予防的PCR検査(月2回9月まで)、抗原検査(毎週年度末まで)希望者に実施
- ・教職員の感染はあるが、児童の教育活動への影響は最小限にとどめた
- ・コロナ感染、濃厚接触により夏休み明けの欠席が20人
- ・家庭内感染(親から子、子から親)

4 学校経営について(11月頃に書面で評価をお伺いします。別途郵送)

- ・自立と貢献
- ・話す力、伝える力、説明する力の育成
- ・自ら考えて行動する力の育成

5 新規事業

- ・起業家育成プロジェクト 9月～1月 5回
- ・学校創立150周年記念事業+かしの木フェスティバル 11月13日
- ・サンながらで水泳授業 9月～11月 4回(2回済)
- ・一乗小学校が修学旅行で、大桑小学校を訪問 6月2日
- ・桜尾小と梅原小と本校の6年生が大桑小で直接交流 7月7日
- ・市健康介護課職員による、SOSの出し方指導 7月4日、8日
- ・県環境教育推進事業で5・6年生が五色ヶ原の森を散策 7月15日
- ・県里山振興課による鮎釣り体験を9月6日に予定していたが増水で中止
- ・サイエンスワールド出張ワークショップ 9月15日

かしの木フェスティバル（大桑小学校創立 150 周年記念事業）

2022. 9. 28 大桑小 花村

1 確認事項

新型コロナウイルス感染拡大中に付き、飲食はできない。密を避けるため、学校と公民館は別会場で、かしの木フェスティバル（公民館）と記念行事（学校）を一緒にやりましょう。学校の案を基本に、地域の人が入るのは記念撮影のみとする。実行委員会を立ち上げる。費用負担や来賓などの調整をする。

2 当日の流れ 令和4年11月13日（日）授業日扱い 15日（月）休み

時刻	大桑小学校	大桑公民館
8:00	登校、トイレ、体育館へ	
8:30	式典 来賓挨拶（市長、県議）	←中継映像を視聴開始
9:00	映像で振り返る大桑小 4世代の話	【映像を視聴する】
9:05	一人目片岡隆義様～	
9:20	二人目土岐邦彦様～	
9:45	三人目大野隆成様～	←中継映像視聴終了
10:00	四人目神原様義典～	【映像視聴終わり】
10:15	終了、移動、トイレ休憩	
10:25	体験講座 消しゴムはんこ 指導は、担任＋フリー＋保護者 【5・6年生】＋玉井さん 【3・4年生】＋養教＋理科 【1・2年生】＋事務 【どんぐり学級】＋支援員	【ステージ】 ・カラオケ・すこやか体操 ・バランスボール・地球を知ろう・大桑城跡を守り、育て、発信する会 【展示】 ・アレンジフラワー・おとなの塗り絵・子ども文化クラブ ・三光園、幸報苑
11:05		
11:25	150周年記念人文字	←150周年記念人文字に参加
11:35	記念の風船飛ばし 45+α	←記念撮影
11:45	親子下校、解散 会場片付け、希望者は公民館	

3 4世代の話 ご自身が子どもだった頃の大桑小を語っていただく。

次の①～④の世代

明治5年5月より南泉寺庫裏を借りて本校とし、妙楽寺を借りて支校とする	
①昭和35年	木造校舎 75歳前後
②昭和36年3月18日	新校舎落成式・・・当時6年生は73歳ぐらい
③昭和56年2月28日	鉄筋二階建て校舎完成・・・当時6年生は53歳ぐらい
④現在	40代ぐらい

↓

平成元年からの歴代PTA会長から、公民館長とも相談して依頼済み

平成 元年 片岡隆義様・・・①内諾、木造校舎、五角産業、80歳

平成11年 土岐邦彦様・・・②内諾、南泉寺

平成26年 大野隆成様・・・③内諾、木道校舎から鉄筋校舎へ移った

令和 3年 神原義典様・・・④内諾 現在の校舎で過ごす 40歳

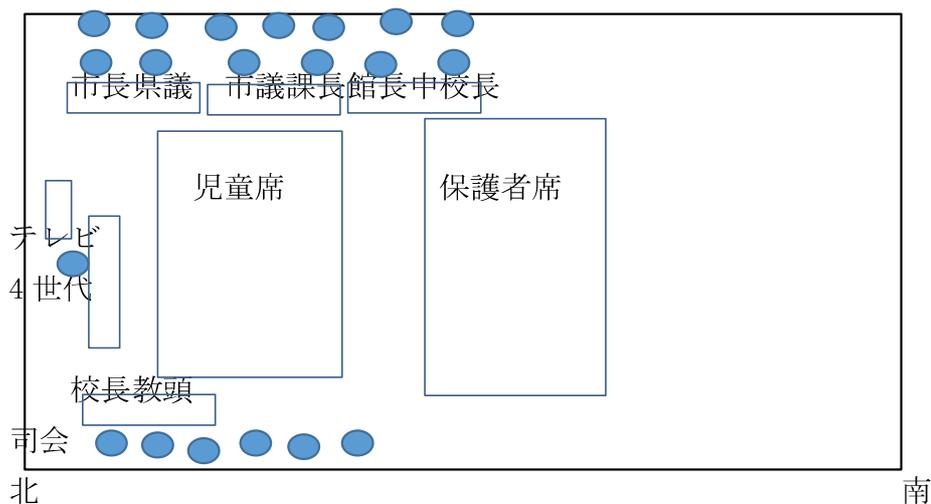
4 来賓（案）松影公民館長と相談します

挨拶（林市長、恩田県議）、加藤市議、藤根生涯学習課長、浅野高富公民館長、日置高富中学校長、幸報苑長、三光園長、北川JA大桜支店長、宇野組合長、大野民生委員、柏木園長、土田学校応援団（計13人予定）

5 役割分担

公民館長との交渉（校長）、地域との交渉（校長）、謝礼（公民館と教頭）、司会原稿（校長）、司会児童指導（担任）、4世代プレゼントづくり（担任）、風船飛ばし・ヘリウム・風船（準備PTA会長、会計公民館）、ビデオ録画・DVD制作（加藤さん）、ドローン撮影（加藤さん）、DVDドローン謝礼（公民館）、写真撮影（校長、教頭、担任）、体育館横看板、立て看板制作・取り付け・撤去（教頭）、風船に付ける手紙準備（関谷）、風船に付ける手紙指導（担任）、グラウンド人文字図案（教頭）、会場準備（村瀬）、保護者受付児童玄関（写真撮影アルバム撮影許諾含む）（教頭）、記者投げ込み資料（校長）、校歌指導（村瀬）、150周年記念アルバム作成（校長）、思い出映像5分制作（校長）、来賓案内状（教頭）、保護者案内文書（教頭）

6 式典及び4世代の話 会場図 体育館イメージ 11月11日(金)準備



7 その他

- 当日撮影写真をもとに記念アルバムを制作OK
- ウォータークーラー設置予定(今年度中)・・・PTA 記念行事費から支出(寄附)
市教委としては、コロナ禍なので口を付けて飲むので、やめた方がいいのではとの指導あり。また、故障時の今後の修理代を出せない 検討中 羽島市は、ウォータークーラー使用している。
- ものづくり体験 全員が消しゴムはんこづくり 講師：玉井さん
- ドローン、動画、中継 ←費用がかかるため加藤市議会議員が連絡・調整

<感染状況が拡大した場合、行動制限が出された場合>

- コロナ感染拡大中に付き、全面的に開催しない。記念品を残す形
- ・記念アルバム制作(人文字、当日の写真、学校風景) 実費販売
 - ・記念品(ウォータークーラー設置など) 費用